(様式第３号)

SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

作成日：令和　4年　9月　14日　　企業･団体名：こうち生活協同組合

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場･社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	【差別の禁止】 ･性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●		採用、教育、昇進･登用、福利厚生などの雇用条件で、差別のない体制を構築し、労働組合を通じて、労使間の情報交流もできている。				4.4	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ･セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール･教育･相談体制を整備している	●		全役職員に配布する｢職員ハンドブック｣へハラスメント防止に向けた啓発や、相談窓口の紹介を掲載し、周知徹底をはかっている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	3	【ワークライフバランス】 ･男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●		半日、時間単位の育休制度や組織全体で育休取得の奨励に取り組んでいる。育児･介護休業サポート制度を実施し、男女の垣根無く仕事と家庭の両立がしやすい環境を整備している。								8.5 8.8									
	4	【外国人労働者】 ･外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●		外国人労働者の適切な処遇や労働環境を整備し、常に一定の雇用人数を継続している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	5	【労働安全衛生】 ･業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●		各事業所に安全衛生委員会を設置し、月に一回労働環境の課題について意見交換をするほか、職員ハンドブックを通じて役職員に取り組みを周知している。 また、四半期毎に全法定事業所と産業医で統括委員会を開催し、労安の環境を整備している。			3					8									
	6	【メンタルヘルス】 ･労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●		年に一度、全役職員を対象にストレスチェックを実施し、各職場毎のストレスの状態に合わせた対策を産業医と共に取り組んでいる。			3														
	7	【ダイバーシティ経営】 ･多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●		特例子会社での障がい者雇用、パート、アルバイト職員が70歳まで働ける環境や、再雇用にも取り組んでいる。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	8	【人材育成】 ･適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●		ユーキャンと公開経営の資格取得にかかる資金の援助や、日生協通信教育を実施し、職員のスキルアップを支援している。				4	5.5			8	9								
	9	【公正な待遇】 ･雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●		働き方改革関連法など、関係法令の内容を理解し、従業員（正社員･パート社員）の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	10	【健康経営】 ･従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる		●	労働安全衛生法の目的に沿って、脳ドックやインフルエンザ予防接種等の補助を行い、職員の健康づくりを応援している。 法定外を含む全ての事業所で毎月安全衛生委員会を開催し、安全衛生の向上に努めている。			3					8									
	11	【新しい生活様式への対応】 ･新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している		●	テレワーク、時差出勤、WEB会議を可能な限り活用し、感染症対策に努めている。			3					8	9.1		11	12					
	12	【デジタル化の推進】 ･労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ･アフターコロナ時代における社会･経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している		●	宅配事業の情報提供をアプリを通じて行えるようにするなど、事業のデジタル化を推進している。								8	9.1		11	12					
環境	13	【廃棄物】 ･廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●		廃棄物関連法令対応の担当者を設置して管理を行っている。 産業廃棄物処理に関するマニュアルをコンプライアンスマニュアル集にて周知している。											11.6	12.4		14.1			
	14	【エネルギー】 ･電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●		エネルギー使用量を算出しており、太陽光パネルを設置しているほか、LEDの使用に切り替えている。							7.3						13				
	15	【温暖化対策】 ･自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●		簡易計算シートでCO2排出量を算出して、削減目標も設定している。							7.2 7.3					12.4	13.3				

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	16	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●		供給する商品において、食品、雑貨品それぞれに取り扱い基準を設けて、有害物質を使用した商品の供給を抑制している。			3.9			6.3					11.6	12.4					
	17	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●		環境に配慮した製品の提供を通して、生物多様性の保全に努めている。						6.6									15		
	18	【３Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる	●		リサイクル子会社を設置して、事業において排出される廃棄物のリサイクルに積極的に取り組んでいる。												12.5		14.1			
	19	【カーボンニュートラルに向けた取組】 ・カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる		●	事業において排出されるCO2量を計測し、経年で実績を検証し、事業での排出量削減の取り組みを実施している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2
	20	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる		●							6.4 6.6											
	21	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格等を取得している		●				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	22	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している		●	年に一回環境レポートを作成し、CSRレポートともに情報開示をしている。												12.6					
	23	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギーの利用・供給に取り組んでいる		●	店舗や商品センターの冷凍冷蔵設備を省エネ機材に入れ替えたり、LED照明を導入してエネルギー効率の向上を図っている。							7.2						13				
	24	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●													12.2	13	14	15		
	25	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる		●	こうち食支援ネットに商品センターの在庫品を提供し、事業からの排出物を削減している。	1	2				6.4						12.3 12.5		14	15		17
公正な事業慣行	26	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	●		就業規則（服務規律）および行動規範により社員に周知している。																16 16.5	
	27	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		公正な取引を行い、各取引先と適正な関係を保てるように、就業規則（服務規律）およびハンドブックの行動規範により周知している。																16	
	28	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	●		就業規則（服務規律）および行動規範により全職員に周知している。								8.2 8.3	9								
	29	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	●		個人情報保護に対する基本方針を定めて公表するとともに、規定を定めて体制を整備している。																16	
	30	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		●																	16	
	31	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
製品・サービス	32	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保する仕組みを構築している	●		品質管理室を設置し、供給する商品の日常的な抜き取り検査を実施し、商品の品質保持に努めている。			3.9									12.4					
	33	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	●		消費者からのお申し出への対応をマニュアル化し、役職員にハンドブックを通じて周知している。									9								

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	34	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）	●		PB商品において環境配慮商品のブランド化をし、その普及に努めている。また事業所で購入する事務用品はグリーン購入を推奨している。						6						12	13	14	15		
	35	【木質化の取組】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している		●							6.1 6.6	7				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	36	【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	37	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している	●		高知県、高知県児童委員・民生委員連合会との間で地域見守り協定を締結している。また、放課後児童クラブでの出前授業など、地域の各団体と連携した取り組みを積極的に行っている。				4					9		11	12		14	15		17
	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		●	子ども食堂基金をはじめ環境団体、社会活動への募金を積極的に行っている。				4							11			14	15		17
	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている		●	高知県の地場産品カタログを月に一回発行し、県内各所の地場商品の普及に貢献している。								8	9		11	12					
組織体制	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している	●		コンプライアンスマニュアル集を整備し、内部監査等を通じて各部門長に周知している。																16	
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している	●		年に一度、方針書を作成し、年度初めの研修で全役職員に共有している。								8	9								17
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	●		CSR担当を設置し、年に1回CSRレポートを発行している。																16	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者（ステークホルダー）※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		消費者である組合員からの声をあらゆる媒体で収集し、それを取引先とも共有する取り組みを行っている。																16	17
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		●	コンプライアンスマニュアル集を整備し、各部門長に周知している。また、全役職員に職員ハンドブックを配布し、法令が遵守されるようマニュアルを周知している。																16	
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している		●	現金実査や事業所点検、内部監査を実施している。																16	
	46	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		●	年に一回CSRレポートを発行している。																16	
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型感染症などに備え、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント（BCM）にも取り組んでいる		●	BCPマニュアルを制定し、それに即した訓練も実施している。									9		11		13 13.1			16	
	48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
持続可能な社会・地方創生	49	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている	●		大規模災害マニュアルを整備し、各事業所にハザードマップを掲示している。また、職場内での避難訓点、防災訓練にも取り組んでいる。				4							11.5		13.1			16	
	50	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている		●	県内の自治体等や社会福祉協議会と連携し、防災訓練や支援物資のネットワークに参加している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている		●	理事会や職員研修の中でSDGsの学習会を実施し、役職員の理解を深めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	52	【産業人材の確保】 ・企業の成長戦略の実現に向け、UIターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している		●					4.4				8.5 8.6									17
	53	【中山間地域を意識した取組】 ・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している		●	高知県の地場産品カタログを月に一回発行し、県内各所の地場商品の普及に貢献している。								8	9		11						